

授業参観

4月22日(土)に授業参観がありました。コロナ禍で3年ぶりの参観日になりましたが、教室に入りきれないくらいたくさんの保護者のみなさまに生徒たちの活動の様子を見ていただきました。今回は道徳の授業で「p4c」の実践をしました。p4c(ピーフォーシー)とは子どもの哲学 philosophy for children のことで、哲学の活動に教員も生徒たちといっしょに飛び込み、子どもに推論方法を身に付けてもらうことを目指したアプローチです。みんなで輪になって座り、生徒自身が問いを立て、他者との対話を通して自分の考えを深めていきます。今回の授業では話す人を可視化するためのツール「コミュニティボール」をみんなで作り、p4cのやり方を確認しました。一人一人が互いを尊重して多様な考えを共有することのできる心や集団の絆を育てていけるように、今後も取り入れていきたい活動です。



・コミュニティボールをつくっています



・どんな「問い」を立てようかな…



・ボールを持っている人が意見を発します

校外学習

5月11日(木)南三陸方面への校外学習を行いました。大川小学校では、真剣な表情で語り部さんの話に耳を傾け、震災当時の状況や、遺族の方々の思いを知りました。さんさん商店街では、同じグループの仲間で和気あいあいと昼食や買い物を楽しんでいました。買い物に夢中になるあまり、集合時間を過ぎてしまったことは今後の改善すべき点にしてほしいと思います。入谷 YES 工房では、タコロン誕生秘話を教えていただきました。その後、それぞれに工夫を凝らして色付けをし、個性豊かなオリジナルのタコロンをみんなで見せ合いました。大震災発生時には0歳だった子どもたちが当時の様子や被災者の方々の思いを知ることは、自分たちが大人になったときに自分や自分の大切な人の命を守る行動につながると考えます。ご家庭でも話題にいただければと思います。



・向かいの山から見た大川小学校



・おいしい海鮮丼にみんな笑顔です



・たこ焼き、海など色々なモチーフがありました